

# コミュニケーションを促す

## わたしはどっちでショー

時間：15分

### ねらい

好みや考え方を伝え合う活動や相手の話を傾聴する活動をとおして、他者理解やコミュニケーションを促進し、良い人間関係を築きます。

### 【準備物】

対照的な言葉を二つ組み合わせたものを記入したワークシート（人数分）

### 実施の際のポイント


- 1 わたしはどっちでショーについての説明を聞き、配布されたワークシートを確認します。
- 2 2つのうち好きな方を選び、丸で囲みます。そのとき、なぜそれを選んだのか理由も考えておきます。
- 3 二人組かグループ内で順番を決め、自己紹介しながら好きな項目について、どちらを選んだかを理由とともに伝え合います。
- 4 ふりかえりを行い、気付いたことや感じたことを発表します。（数名）

人権の視点で選んだ二者択一の組み合わせを付け加えることにより、中心となる活動への導入や学習の下地づくりとして、個別の人権問題に触れることができます。

一人一人の考え方や感じ方の違いを尊重し合うことで、和やかな雰囲気醸成します。

### ワークシート例

## わたしはどっちでショー

- 1 3つの質問に対し、自分にあてはまる方を選んで○で囲んでください。

①好きな季節は	A 夏	B 冬
②星占いを	A 信じる	B 信じない
③これからの目標	A 長生きする	B 大金をかせぐ
- 2 選んだ理由やエピソードをグループのメンバーに話しましょう。

## 3つのコーナー

時間：15分

### ねらい

他の学習者の意見を聞くこととおして、他者との共通性や違いについて気付きます。

### 【準備物】

「そう思う」「そうは思わない」「どちらともいえない」と書いた紙、セロハンテープ

### 実施の際のポイント

- 1 3つのコーナーについて説明を聞きます。
- 2 質問に対し、3つのコーナーのうち自分の考えに最も近い回答が貼ってある場所に移動します。
- 3 そのコーナーを選んだ理由を発表します。（数名）
- 4 2、3の活動を繰り返します。
- 5 ふりかえりを行い、気付いたことや感じたことを発表します。（数名）

事前に、会場の3つの隅（コーナー）に、「そう思う」「そうは思わない」「どちらともいえない」と書いた紙を貼っておきます。

学習テーマに沿った質問内容にすることで、中心となる活動の導入や学習の下地づくりにもなります。  
<例>「障害者の人権」の場合  
・自分が住んでいる地域はバリアフリーが進んでいる。